セミの抜け殻調査報告書2009

調査者(団体)名: 帝人ファーマ(株)・東京研究センター　　担当者:大上泰弘

連 絡 先 :

調 査 日 : 2009 年 7 月 26 日 ～ 2009 年 8 月 22 日

主な調査時間 : AM 10 : 00 ～ PM 12 : 00

1回の調査参加人数: 約 15 人 (含スタッフ 5 人)

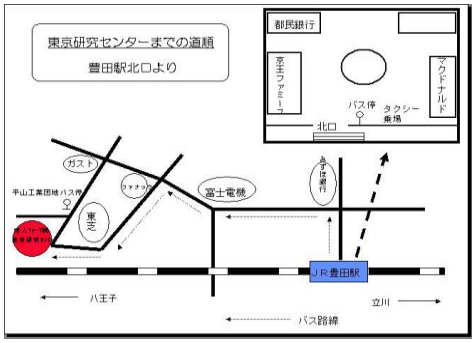
調査実施場所: 帝人ファーマ(株)・東京研究センター (住所: 同上)

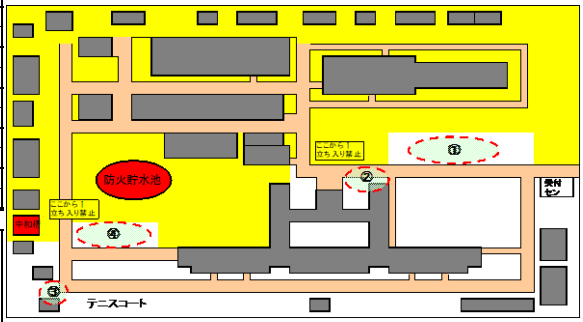
調査場所の環境:

周辺の環境　平地・街　里・丘陵　山　海岸　河川　その他 (　　)
調査場所の様子　都市公園 自然公園・保存緑地 社寺 個人宅庭 街路 その他 (敷地内)
調査場所の地面　土が露出 下草・落ち葉がまばら 一面に下草・落ち葉 その他 (　　)

調査結果:

採取日	7/26	8/8	8/22
ニイニイゼミ ♂			
採取日			ニイニイゼミは時間がかかるため、♂メスを区別しなかった。
ニイニイゼミ ♀	25	39	2
採取日			
ミンミンゼミ ♂	6	23	6
採取日			
ミンミンゼミ ♀	1	17	18
採取日			
アブラゼミ ♂	13	153	115
採取日			
アブラゼミ ♀	3	91	134
採取日			
ツクツクボウシ♂	0	5	6
採取日			
ツクツクボウシ♀	0	0	3
採取日			
ヒグラシ ♂	1	0	0
採取日			
ヒグラシ ♀	0	0	1
採取日			
クマゼミ ♂	0	0	0
採取日			
クマゼミ ♀	0	0	0
採取日			
合計	49	328	285





気づいたこと・感想など (調査中聞こえたセミの鳴き声も記入してください)

出現時期のパターンとしては、ニイニイゼミの出現がアブラゼミ、ミンミンゼミよりも早いことがわかった。また、アブラゼミ、ミンミンゼミではオスが先行し、メスが後から出てくることがわかった。
出てくる場所のパターンとしては、相対的には日陰にニイニイゼミが多い傾向があった。
鳴き声としては、アブラ、ミンミンが圧倒的であった。

2009年度　　帝人ファーマ(株)・東京研究センター

２００９年７月２６日 (日) Core site_Data

セミの種類	抜け殻採取頭数	合計	① けやき並木 日当たり：○	② 建物脇低木 日当たり：△	③ コート横 日当たり：◎	④ 茂み 日当たり：×
ニイニイ♂♀計	25	25	5	6	11	3
ミンミン♂	6	7	0	6	0	0
ミンミン♀	1		0	1	0	0
アブラ♂	13	16	1	4	8	0
アブラ♀	3		0	0	3	0
ヒグラシ♂	1	1	0	1	0	0
ヒグラシ♀	0		0	0	0	0
ツクツク♂	0	0	0	0	0	0
ツクツク♀	0		0	0	0	0
合計		49	6	18	22	3

２００９年８月８日 (日) Core site_Data

セミの種類	抜け殻採取頭数	合計	① けやき並木 日当たり：○	② 建物脇低木 日当たり：△	③ コート横 日当たり：◎	④ 茂み 日当たり：×
ニイニイ♂♀計	39	39	8	3	2	26
ミンミン♂	23	40	21	2	0	0
ミンミン♀	17		15	2	0	0
アブラ♂	153	244	70	12	67	4
アブラ♀	91		52	4	35	0
ヒグラシ♂	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ♀	0		0	0	0	0
ツクツク♂	5	5	3	0	1	1
ツクツク♀	0		0	0	0	0
合計		328	169	23	105	31

２００９年８月２２日 (日) Core site_Data

セミの種類	抜け殻採取頭数	合計	① けやき並木 日当たり：○	② 建物脇低木 日当たり：△	③ コート横 日当たり：◎	④ 茂み 日当たり：×
ニイニイ♂♀計	2	2	0	1	1	0
ミンミン♂	6	24	5	1	0	0
ミンミン♀	18		16	0	0	2
アブラ♂	115	249	13	11	49	42
アブラ♀	134		45	13	45	31
ヒグラシ♂	0	1	0	0	0	0
ヒグラシ♀	1		0	0	0	1
ツクツク♂	6	9	4	1	0	1
ツクツク♀	3		1	0	0	2
合計		285	84	27	95	79

参考：

２００８年８月１０日 (日)

セミの種類	け殻採取頭	合計	① けやき並木 日当たり：○	② 建物脇低木 日当たり：△	③ コート横 日当たり：◎	④ 茂み 日当たり：×
ニイニイ♂♀計	0	0	17	4	3	39
ミンミン♂	7	13	3	2	1	1
ミンミン♀	6		5	0	0	1
アブラ♂	169	250	51	15	65	38
アブラ♀	81		38	7	30	6
ヒグラシ♂	1	2	0	0	0	1
ヒグラシ♀	1		0	0	0	1
ツクツク♂	4	5	1	2	0	1
ツクツク♀	1		0	0	0	1
合計		270	115	30	99	89

セミの抜け殻調査報告書2009

調査者(団体)名: テイジン セミの抜け殻調査隊 毛利庭園　　担当者: 佐々木久美子

連 絡 先 : (住所・TEL)
(メールアドレス)

調 査 日 : 2009年 ①7月19日 ②8月16日 ③8月30日

主な調査時間 : AM10:00 ～ AM11:30

1回の調査参加人数: 2人

調査実施場所: 毛利庭園 (住所:東京都港区六本木6丁目)全域にわたり採取

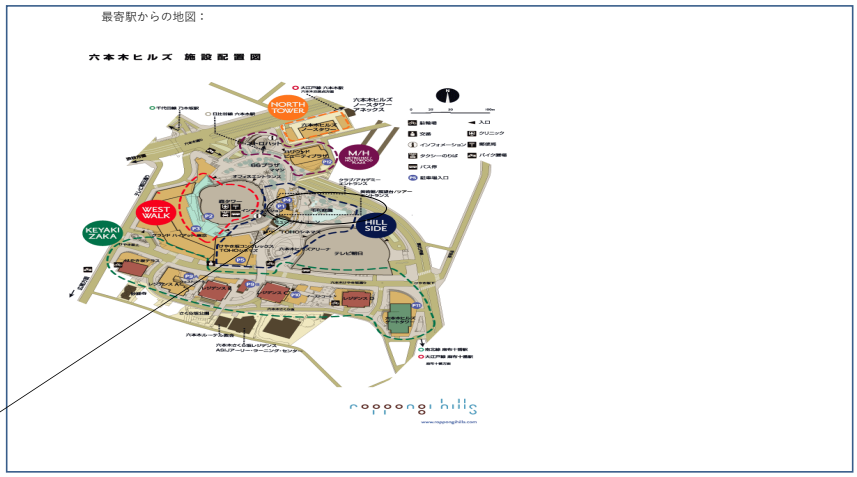
調査場所の環境:

周辺の環境　平地・街　里・丘陵　山　海岸　河川　その他 (　　)
調査場所の様子　都市公園　自然公園・保存緑地　社寺　個人宅庭　街路　その他 (　　)
調査場所の地面　土が露出　下草・落ち葉がまばら　一面に下草・落ち葉　その他 (　　)

調査結果:														
採取日	7/19	8/16	8/30											
ニイニイゼミ ♂														
採取日														
ニイニイゼミ ♀														
採取日														
ミンミンゼミ ♂	5		4											
採取日														
ミンミンゼミ ♀	2	1	1											
採取日														
アブラゼミ ♂	14	1	12											
採取日														
アブラゼミ ♀	18	9	20											
採取日														
ツクツクボウシ♂														
採取日														
ツクツクボウシ♀			1											
採取日														
ヒグラシ ♂														
採取日														
ヒグラシ ♀														
採取日														
クマゼミ ♂														
採取日														
クマゼミ ♀														
採取日														
採取日														

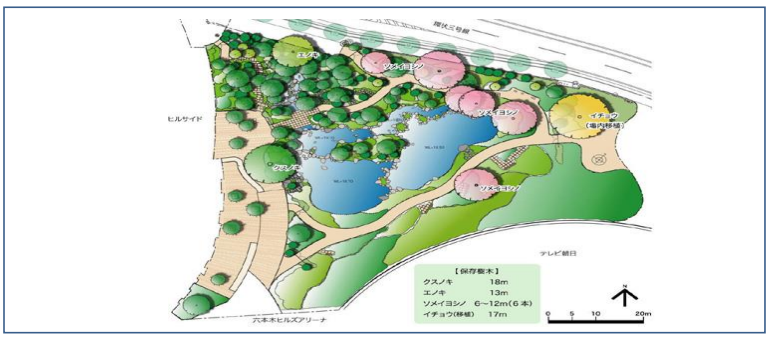
気づいたこと・感想など (調査中聞こえたセミの鳴き声も記入してください)
イチョウでの採取はゼロ。

最寄駅からの地図：



毛利庭園

公園などの中の調査範囲図：



※採取場所は全域にわたり採取

セミの抜け殻調査報告書2009

調査者(団体)名: 自然観察指導員 ナコット　　担当者: 小泉明代

調 査 日 : 2009年 7 月 22 日 ～ 2009年 8 月 27日

主な調査時間 : AM 10:00 ～12:00

1回の調査参加人数: 8/9 3名 その他の日 1名

調査実施場所: 都立神代植物公園:調布市深大寺元町5－31－10 植物園 内の**カゴノキ広場**

調査場所の環境:

周辺の環境　都立公園

調査場所の様子　緑地が保存されている都立公園

調査場所の地面　土は露出が多い。下草・落ち葉がまばら。低木にはシロヤマブキ。

調査結果:

採取日		7/22		7/29		8/9		8/27	
ニイニイゼミ 合計		13		15		13		2	
採取日									
ミンミンゼミ ♂									
採取日									
ミンミンゼミ ♀									
採取日						8/9		8/27	
アブラゼミ ♂						1		3	
採取日						8/9		8/27	
アブラゼミ ♀						7		8	
採取日								8/27	
ツクツクボウシ♂								1	
採取日									
ツクツクボウシ♀									
採取日									
ヒグラシ ♂									
採取日				7/29		8/9		8/27	
ヒグラシ ♀				1		1		1	
採取日									
クマゼミ ♂									
採取日									
クマゼミ ♀									
採取日									

気づいたこと・感想など （調査中聞こえたセミの鳴き声も記入してください）

広さは20m×15m＝300㎡である。カゴノキ、イスノキ、ヤマボウシ、シロヤマブキなどがある。7/29ではニイニイゼミ、アブラゼミの声が多く、時々ミンミンゼミ、時く鳴くとヒグラシが鳴いた。一回のみツクツクボウシの声を聞く。ヤマブキの低い位置にもアブラが付いていた。8/27にはアブラが多く取れ、やはりヤマブキの低い位置からも採集出来た。

セミの抜け殻調査報告書2009

調査者(団体)名: 自然観察指導員 ナコット　　担当者: 小泉明代

連 絡 先 :

調 査 日 : 2009年7月22日 ～2009年8月27日

主な調査時間 : AM10:00 ～ 12:00

1回の調査参加人数: 8/9 3名 （山本八郎、野木雅央、小泉） 他調査日 1名

調査実施場所: 都立神代植物公園:調布市深大寺元町5－31－10 植物公園内の雑木林

調査場所の環境:

周辺の環境　平地　畑も点在する住宅地

調査場所の様子　緑地の残る都市公園

調査場所の地面　土が露出するところや下草が生い茂るところや下草がある環境

調査結果:

採取日														
ニイニイゼミ合計														
採取日														
ミンミンゼミ ♂														
採取日														
ミンミンゼミ ♀														
採取日						8/9		8/27						
アブラゼミ ♂						3		3						
採取日						8/9		8/27						
アブラゼミ ♀						1		2						
採取日														
ツクツクボウシ♂														
採取日														
ツクツクボウシ♀														
採取日		7/22		7/29		8/9		8/27						
ヒグラシ ♂		1		1		6		4						
採取日				7/29		8/9		8/27						
ヒグラシ ♀				1		4		3						
採取日														
クマゼミ ♂														
採取日														
クマゼミ ♀														
採取日														
採取日														

気づいたこと・感想など （調査中聞こえたセミの鳴き声も記入してください）

広さは25m×15m＝375㎡ 湿り気の多いコナラ林。樹幹にはツタが絡みつく。クモやザトウムシが多い環境。下草は繁茂した所と土や倒木がある所と混在する。草の低い位置でも抜け殻は採集できた。圧倒的にヒグラシが多かったので、ヒグラシが好む環境なのだろう。

セミの抜け殻調査報告書2009

調査者(団体)名:　　担当者:　新庄　秀克(五洋建設)

連 絡 先 :

調 査 日 :　2009年 7月　19日　～　2009年 8月 30日

主な調査時間 :　AM 8:00　～ AM　9:00

1回の調査参加人数:　1人

調査実施場所:　長命館公園　（住所: 宮城県仙台市泉区加茂　）

調査場所の環境:

周辺の環境　里・丘陵
調査場所の様子　自然公園・保存緑地
調査場所の地面　下草・落ち葉がまばら

調査結果:

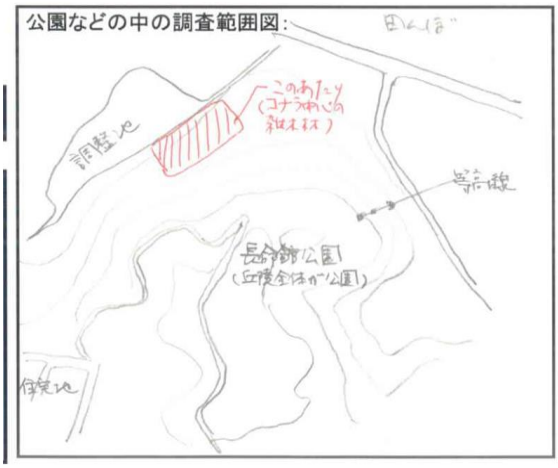
採取日	7/19		8/11		8/30									
ニイニイゼミ ♂														
採取日														
ニイニイゼミ ♀														
採取日														
ミンミンゼミ ♂	1		1		1									
採取日														
ミンミンゼミ ♀					1									
採取日														
アブラゼミ ♂	1		1		5									
採取日														
アブラゼミ ♀			2		3									
採取日														
ツクツクボウシ♂														
採取日														
ツクツクボウシ♀														
採取日														
ヒグラシ ♂	2		1		1									
採取日														
ヒグラシ ♀	2				6									
採取日														
クマゼミ ♂														
採取日														
クマゼミ ♀														
採取日														
採取日														

気づいたこと・感想など （調査中聞こえたセミの鳴き声も記入してください）

8月11日:東名高速道が雨と地震で崩れた後で落下した殻が多かったかも(ただし、地面には見つからず)鳴き声はミンミン・アブラ　8月30日:葉についていた殻は2個、残りはすべて地面。23℃くらいと寒かったせいか、ミンミン・ツクツクがまばらに半々くらいの鳴き声

最寄駅からの地図:

公園などの中の調査範囲図:



セミの抜け殻調査報告書2010

調査者(団体)名: 極 聡　　担当者: 極 聡、極 田鶴子

連 絡 先 :

調 査 日 : 2010年7月25日 ～ 2010年9月4日

主な調査時間 : AM10:00 ～ AM12:00

1回の調査参加人数: 2人

調査実施場所: 東福寺境内とその周辺の公園 （住所: 千葉県流山市鰭ヶ崎1303）

調査場所の環境:

周辺の環境　平地・街　里・丘陵　山　海岸　河川　その他（　）

調査場所の様子　都市公園　自然公園・保存緑地　社寺　個人宅庭　街路　その他（　）

調査場所の地面　土が露出　下草・落ち葉がまばら　一面に下草・落ち葉　その他（　）

調査結果:

採取日		7/25		8/7		8/21		9/4				
ニイニイゼミ ♂												
ニイニイゼミ ♀												
ニイニイゼミ ♂♀不明		15		43		60						
ミンミンゼミ ♂		26		38		56		15				
ミンミンゼミ ♀		5		47		90		20				
アブラゼミ ♂		20		92		119		35				
アブラゼミ ♀		4		70		146		42				
ツクツクボウシ♂				6		18		2				
ツクツクボウシ♀				1		7		7				
ヒグラシ ♂												
ヒグラシ ♀												
クマゼミ ♂												
クマゼミ ♀												
合計		70		297		496		121				
						計		984				

気づいたこと・感想など （調査中聞こえたセミの鳴き声も記入してください）

全調査期間を通じてアブラゼミとミンミンゼミの鳴き声は他を圧倒していたので、抜け殻もアブラゼミとミンミンゼミに偏っているのは納得できる。
調査期間中に1～2度クマゼミやヒグラシの鳴き声も聞こえたが抜け殻は発見できなかった。
9月に入ってからはツクツクボウシの鳴き声が多く聞こえていたが、抜け殻はそれほど多く発見できなかった。

セミの抜け殻調査報告書2011

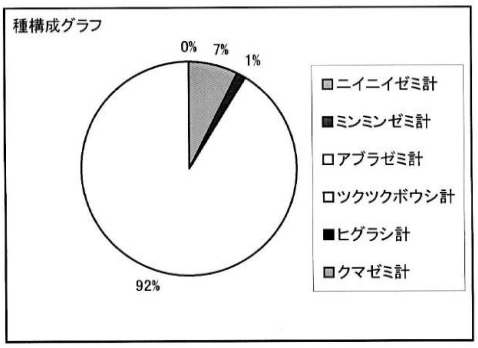
年度	2011
都道府県名	東京都
調査地名	日野市多摩平第6公園
サイト名	西
周辺の環境	平地
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	下草・落ち葉がまばら
主担当者	小久保
再検者	

主担当者連絡先	
住所	
電話番号	
E-mail	

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	
調査地の主な樹木	
調査地関連HP	
調査参加者数	大人　中学生　小学生　幼児

ニイニイゼミ計	16
ミンミンゼミ計	3
アブラゼミ計	197
ツクツクボウシ計	0
ヒグラシ計	0
クマゼミ計	0
総計	216

種	♂♀	7/23	8/6	9/3	計
ニイニイゼミ	不明	15	1	0	16
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	15	1	0	16
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	2	2
ミンミンゼミ	♀	0	0	1	1
ミンミンゼミ	計	0	0	3	3
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	2	38	61	101
アブラゼミ	♀	0	13	83	96
アブラゼミ	計	2	51	144	197
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0
	合計	17	52	147	216



セミの抜け殻調査報告書2011

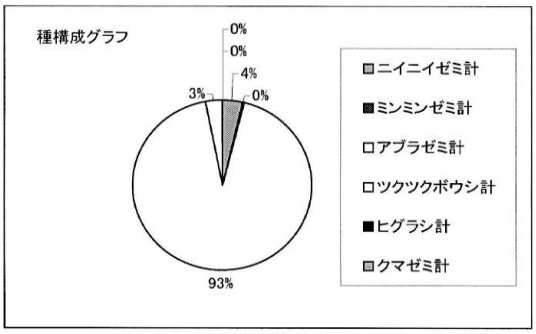
年度	2011
都道府県名	東京都
調査地名	日野市多摩平第6公園
サイト名	東
周辺の環境	平地
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	下草・落ち葉がまばら
主担当者	小久保
再検者	

主担当者連絡先	
住所	
電話番号	
E-mail	

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	
調査地の主な樹木	
調査地関連HP	
調査参加者数	大人　中学生　小学生　幼児

ニイニイゼミ計	8
ミンミンゼミ計	1
アブラゼミ計	208
ツクツクボウシ計	7
ヒグラシ計	0
クマゼミ計	0
総計	224

種	♂♀	7/23	8/6	9/3	計
ニイニイゼミ	不明	7	0	1	8
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	7	0	1	8
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	1	1
ミンミンゼミ	計	0	0	1	1
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	6	31	69	106
アブラゼミ	♀	0	8	94	102
アブラゼミ	計	6	39	163	208
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	6	6
ツクツクボウシ	♀	0	0	1	1
ツクツクボウシ	計	0	0	7	7
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0
	合計	13	39	172	224



コメント（西・東両サイトについて）
7/23 イヌシデ？の下にニイニイゼミがたくさん落ちている。
　東側入り口近くのスダジイにアブラゼミが多い
　公園の真ん中の樹木から10mほど離れた場所にセミの穴がある。
　その南側にあるヒノキに付いた抜け殻はここか出てきたのか？
8/6 ミンミンゼミ、ツクツクボウシの声は聞こえているが、採集できるのはアブラゼミばかり。
　1個あったニイニイゼミは前回の採り残しの可能性が高い
9/3 ツクツクボウシは東側の入り口入ってすぐ左側に集中していた。
本公園の東側道を挟んで隣接する東豊田緑地保全地域の多摩平側の崖上は、調査はしていないが、抜け殻の面積当たりの数（総数）は少なそうである、そのあたりで9/3のにはツクツクボウシの声は非常に多く聞かれたが抜け殻は羽化失敗したもの1頭があっただけで、みつかっていない。また、この緑地の崖下は黒川清流公園であるが、こちらも抜け殻の数は少ない印象。人の入れない部分も多く、その中でミンミンゼミやツクツクボウシが多数羽化している可能性がある。また、近くの山王下公園、清水谷公園などではツクツクボウシの抜け殻が多いとの情報もあり、今後確認が必要。このように隣接して自然度の高い林がある場合、サイトの環境によって鳴き声の割に抜け殻が少ないということがあり得るかもしれない。

セミの抜け殻調査報告書2010

調査者(団体)名: 極 聡　　担当者: 極 聡、極 田鶴子

連 絡 先 :

調 査 日 : 2011年7月23日 ～ 2011年8月28日

主な調査時間 : AM10:00 ～ AM12:00

1回の調査参加人数: 1人

調査実施場所: 館マンション緑地 （住所: 千葉県流山市鰭ヶ崎1303）

調査場所の環境:

周辺の環境　平地・街　里・丘陵　山　海岸　河川　その他（　）
調査場所の様子　都市公園　自然公園・保存緑地　社寺　個人宅庭　街路　その他（　）
調査場所の地面　土が露出　下草・落ち葉がまばら　一面に下草・落ち葉　その他（　）

調査結果:

採取日	7/23		8/13		8/28							
ニイニイゼミ ♂	–		–		–							
ニイニイゼミ ♀	–		–		–							
ニイニイゼミ ♂♀不明	1		4		15			20				
ミンミンゼミ ♂	22		51		62			135				
ミンミンゼミ ♀	6		61		98			165				
アブラゼミ ♂	0		177		142			319				
アブラゼミ ♀	0		91		147			238				
ツクツクボウシ♂	0		0		28			28				
ツクツクボウシ♀	0		0		10			10				
ヒグラシ ♂	0		0		0							
ヒグラシ ♀	0		0		0							
クマゼミ ♂	0		0		0							
クマゼミ ♀	0		0		0							
合計	29		384		502			915				

気づいたこと・感想など （調査中聞こえたセミの鳴き声も記入してください）
7月後半からミンミンゼミが鳴きだし、8月に入ってアブラゼミがやかましくなった。
8月後半からツクツクボウシが主体となったが、抜け殻はあまり多く見つからなかった。

セミの抜け殻調査報告書2010

調査者(団体)名: 極 聡　　担当者: 極 聡、極 田鶴子

連 絡 先 :

調 査 日 : 2011年7月23日 ～ 2011年8月28日

主な調査時間 : AM10:00 ～ AM12:00

1回の調査参加人数: 1人

調査実施場所: 塚の原台公園 （住所: 千葉県流山市鰭ヶ崎1303）

調査場所の環境:

周辺の環境　平地・街　里・丘陵　山　海岸　河川　その他（　）
調査場所の様子　都市公園　自然公園・保存緑地　社寺　個人宅庭　街路　その他（　）
調査場所の地面　土が露出　下草・落ち葉がまばら　一面に下草・落ち葉　その他（　）

調査結果:

採取日	7/23		8/13		8/28							
ニイニイゼミ ♂	–		–		–							
ニイニイゼミ ♀	–		–		–							
ニイニイゼミ ♂♀不明	105		39		15			159				
ミンミンゼミ ♂	0		13		1			14				
ミンミンゼミ ♀	0		21		2			23				
アブラゼミ ♂	0		5		3			8				
アブラゼミ ♀	0		5		2			7				
ツクツクボウシ♂	0		1		1			2				
ツクツクボウシ♀	0		0		0							
ヒグラシ ♂	0		0		0							
ヒグラシ ♀	0		0		0							
クマゼミ ♂	0		0		0							
クマゼミ ♀	0		0		0							
合計	105		84		24			213				

気づいたこと・感想など （調査中聞こえたセミの鳴き声も記入してください）
7月後半からニイニイゼミの鳴き声が圧倒的に多かった。
その後ミンミンゼミが多数を占めているようだったが、8月後半からはツクツクボウシの鳴き声が多くなった。
ツクツクボウシの抜け殻がほとんど見つからなかったのは、他から来ているせいか？

セミの抜け殻調査報告書2014

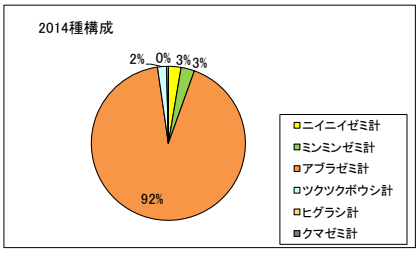
部分を入力　　ニイニイゼミの♂♀鑑別は不要（任意で入力できます）　　プルダウンから選択　　部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

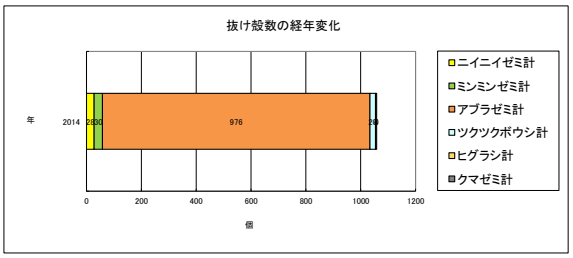
列や行は削除はしないでください。

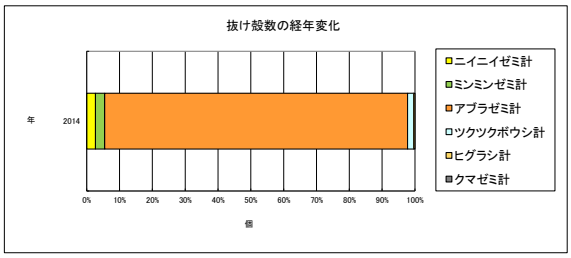
年度	2014
都道府県名	東京都
調査地名	東久留米市小山1-14-25
サイト名	子ノ神社
周辺の環境	平地
調査場所の様子	寺社
調査場所の地面	土が露出
主担当者	竹内秀夫
再検者	

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	
調査地の主な樹木	ムクロジ、サカキ、ムラサキシキブ、コブシ、ヒノキ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人　３名　　中学生　　小学生　　幼児

種	♂♀	7/31	8/6	8/15	8/23	8/31	/	/	/	/	/	計
ニイニイゼミ	不明	14	9	5	0	0	0	0	0	0	0	28
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	14	9	5	0	0	0	0	0	0	0	28
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	2	8	4	3	0	0	0	0	0	17
ミンミンゼミ	♀	1	2	4	4	2	0	0	0	0	0	13
ミンミンゼミ	計	1	4	12	8	5	0	0	0	0	0	30
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	28	197	220	55	18	0	0	0	0	0	518
アブラゼミ	♀	8	73	221	109	47	0	0	0	0	0	458
アブラゼミ	計	36	270	441	164	65	0	0	0	0	0	976
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	1	3	5	4	2	0	0	0	0	0	15
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0	5
ツクツクボウシ	計	1	3	5	7	4	0	0	0	0	0	20
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
ヒグラシ	♀	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ヒグラシ	計	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（自由入力）	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（自由入力）	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（自由入力）	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（自由入力）	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	54	288	463	179	74	0	0	0	0	0	1,058







	2014	2013	2012	2011	2010	2009
ニイニイゼミ計	28	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ計	30	0	0	0	0	0
アブラゼミ計	976	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ計	20	0	0	0	0	0
ヒグラシ計	4	0	0	0	0	0
クマゼミ計	0	0	0	0	0	0
（自由入力）	0	0	0	0	0	0
総計	1,058	0	0	0	0	0

コメント：（改行：ALT+ENTER）
調査地から聞こえてくる鳴き声から、調査前に抱いていた印象よりもニイニイゼミとヒグラシの抜け殻が少なくアブラゼミが多かった。
（８月６日までの感想）

ヒグラシは４つだけだが、全てムクロジの若い木についていた。

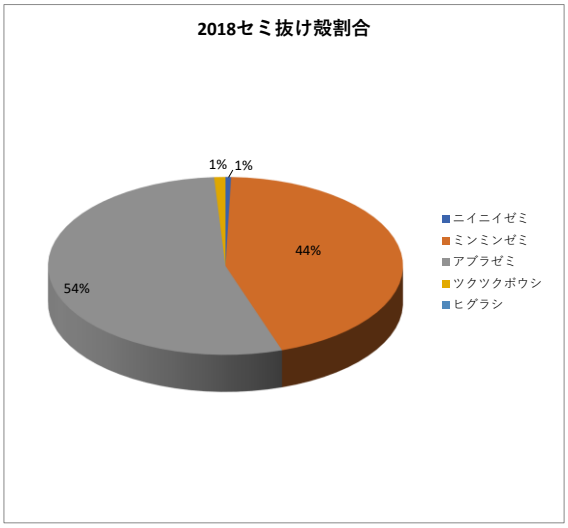
およそ一ヶ月半の調査で、種ごとの発生場所やその栄枯盛衰を感じ取れ、
非常に興味深かった。

羽化に失敗した個体が多い、という情報を聞いたので一応カウントした。
その個体数は２５であった。

参考：シーズン中２回だけの調査のため参考データとする

哲学堂公園セミ抜け殻調査報告書　2018						報告者	榕祐子／中村芳生／	
調査日	2018/8/4					調査地	哲学堂公園	
No.	種名	雌雄	S1	S2	S3	S4	合計	備考
1	ニイニイゼミ	–		4		1	5	
2	ミンミンゼミ	♂	33	60	42	8	143	
3	ミンミンゼミ	♀	51	50	36	16	153	
4	アブラゼミ	♂	46	77	18	67	208	
5	アブラゼミ	♀	35	48	13	74	170	
6	ツクツクボウシ	♂				1	1	
7	ツクツクボウシ	♀		1			1	
8	ヒグラシ	♂					0	
9	ヒグラシ	♀					0	
10	クマゼミ	♂					0	
11	クマゼミ	♀					0	
	合計		165	240	109	167	681	

哲学堂公園セミ抜け殻調査報告書						報告者	榕祐子／中村芳生／	
調査日	2018/8/19					調査地	哲学堂公園	
No.	種名	雌雄	S1	S2	S3	S4	合計	備考
1	ニイニイゼミ	–					0	
2	ミンミンゼミ	♂	5	28	22	1	56	
3	ミンミンゼミ	♀	10	27	42	3	82	
4	アブラゼミ	♂	5	23	21	17	66	
5	アブラゼミ	♀	26	19	19	22	86	
6	ツクツクボウシ	♂	1	4	1		6	
7	ツクツクボウシ	♀	1	1			2	
8	ヒグラシ	♂					0	
9	ヒグラシ	♀					0	
10	クマゼミ	♂					0	
11	クマゼミ	♀					0	
	合計		48	102	105	43	298	

シーズン集計		合計	総合計
ニイニイゼミ	–	5	5
ミンミンゼミ	♂	199	434
ミンミンゼミ	♀	235	
アブラゼミ	♂	274	530
アブラゼミ	♀	256	
ツクツクボウシ	♂	7	10
ツクツクボウシ	♀	3	
ヒグラシ	♂	0	0
ヒグラシ	♀	0	
クマゼミ	♂	0	0
クマゼミ	♀	0	

ニイニイゼミ	5
ミンミンゼミ	434
アブラゼミ	530
ツクツクボウシ	10
ヒグラシ	0
クマゼミ	0
合計	979